

2024年度「早稲田松代塾」第65回～第68回 受講生募集

作家・詩人から学ぶ世界の文学

連続4回
8コマ

コロナ禍で中断しておりました早稲田松代塾の講義を再開いたします。今まで年6回の講義でしたが、今年度は助走期間として年4回とし、早稲田大学文学学術院・文化構想学部
の先生方による、「文学」をテーマとした講義を展開いたします。フランス、ドイツ、ロシア、
スイス、コロンビア、日本など各国の文学作品・作者を通して世界の文学を俯瞰すると共に、
それらがその時代や社会に与えた影響についても講義していきます。



講義の日程・講師

※開講時間は、午前の講義：午前10時30分～正午 / 午後の講義：午後1時～2時30分

第65回 2024 6/30日

講師：早稲田大学教授
堀江 敏幸氏

- ▶午前
「島崎藤村『千曲川のスケッチ』と世界文学ー詩から散文への変容」
- ▶午後
「島崎藤村『夜明け前』と1930年代」

第66回 2024 10/6日

講師：早稲田大学非常勤講師
澤 直哉氏

- ▶午前
「詩と本、詩の本ーバラトウインスキー、マンデリシターム、タルコフスキイ(1)」
- ▶午後
「詩と本、詩の本ーバラトウインスキー、マンデリシターム、タルコフスキイ(2)」

第67回 2024 12/1日

講師：早稲田大学准教授
マヌエル・アスアヘアラモ氏

- ▶午前
「世界文学からガルシア＝マルケスへ」
- ▶午後
「ガルシア＝マルケスから世界文学へ」

第68回 2025 3/2日

講師：早稲田大学教授
松永 美穂氏

- ▶午前
「現代ドイツ文学と日本文学の往還ー多和田葉子について」
- ▶午後
「山のうちそとーヨハンナ・シュピリの『ハイジ』と多和田葉子の『ゴットハルト鉄道』」

◆2019年度の早稲田松代塾「地球の環境と資源(第2期)」

- 第59回 2019年5月26日(日)「環境と人間活動」(早稲田大学教授 香村一夫氏)
「湖の底に留まった堆積物は語るー環境汚染の実態ー」「ごみ埋め立てー環境問題とその資源的価値ー」
- 第60回 2019年7月28日(日)「『危ない』環境にどう対処するか」(早稲田大学准教授 村田克氏)
「環境の有害物質と健康被害」「危険でなければ安全? 安全でなければ危険?」
- 第61回 2019年9月15日(日)「地球環境と調和したエネルギー資源の開発」(早稲田大学准教授 古井健二氏)
「持続的未來社会における石油資源の役割」「石油・天然ガス開発におけるジオメカニクス」
- 第62回 2019年11月17日(日)「岩石・鉱物資源を考える」(早稲田大学教授 内田悦生氏)
「鉱物資源の現状と未来」「文化遺産と石材ーアンコール遺跡を例としてー」
- 第63回 2020年1月19日(日)「物理探査による地下の可視化」(早稲田大学准教授 上田匠氏)
「物理現象を利用した不可視領域の可視化技術」「物理探査の適用事例: 資源探査と環境問題」
- 第64回 2020年3月15日(日)「金属製錬と金属リサイクルの最前線」(早稲田大学教授 山口 勉功氏)
「くらしを支える金属材料」「良い仲と悪い仲: 金属製錬の原理」(中止)

◆これまでの早稲田松代塾(参考)

- 2009年度『近代日本の思想と文化(第1期)』
- 2010年度『私たちにあってアジアとは何かー歴史地理の観点から』
- 2011年度『日本古代史の謎に迫る』
- 2012年度『国際問題と日本の外交』
- 2013年度『近代日本の思想と文化(第2期)』
- 2014年度『憲法改正論議と世界の憲法』
- 2015年度『多元文化論(第1期)ー日本史・世界史の常識を再考するー』
- 2016年度『多元文化論(第2期)ー日本史・世界史の常識を再考するー』
- 2017年度『東洋の宗教/思想』
- 2018年度『地球の環境と資源(第1期)』

●会場 ほくほく線まつだい駅併設 まつだいいふるさと会館2階「常春ホール」

●受講料 1回(1日2コマ)2,000円(資料代700円、講義料1,300円) ※高校生無料

●定員 先着80人

●申込み 住所、氏名、電話・FAX番号、メールアドレスを明記のうえ、葉書にて下記住所まで
〒942-1527 十日町市太平598-4 松茸ドーミトリ内 松代早稲田協力会

●問合せ 松代早稲田協力会・木戸一之(Tel:090-5333-4112)

